

時間	行政等からの情報発信 (黒: 気象情報等 青: 岡山河川事務所 または岡山県 赤: 瀬戸内市)	住民等(例)	作成のポイント	備考
平常時  3日前  2日前  1日前  半日前	※災害の発生状況は全て想定であり、想定条件のもと行政情報が発信されたものとして、仮定の経緯を表しています。  ○台風予報 ○台風に関する岡山県気象情報(随時)  ○台風に関する今後の見通し	<b>防災ハザードマップで自宅周辺のリスクを確認</b> ・浸水深 : ・土砂災害 : ・高潮災害 :  <b>避難先及び避難ルートを確認</b> ・どこへ避難するのか ・どこを通るのか ・誰かに声をかけなくていいのか など、事前に確認しましょう。  ○テレビなどで気象情報を確認 ○家族全員の今後の予定を確認  ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足分は早めに購入)  ○常備菜の確認、準備(1週間分程度) ○家の周りに風で飛ばされそうなものはないか ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	<b>作成のポイント</b> 「縁起でもないことを」ではなく、「備えあれば憂いなし」「天災は忘れたころにやってくる」を心がけてください。  遠出の予定がある場合は、気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも必要です。  事前の準備は必要です。 風でとばされそうな植木鉢、自転車等を片づけ、ビニールハウスの点検などはすませましょう。	
-5h  -3h	水防団待機水位到達 (想定)  氾濫注意水位到達 (想定) → 洪水予報(氾濫注意情報)発表  大雨警報 (土砂災害・浸水害)  洪水警報  暴風警報  避難判断水位到達 (想定) → 洪水予報(氾濫警戒情報)発表  <b>○避難準備・高齢者等避難開始を発令(警戒レベル3)</b> ○避難所の開設  高潮警報 氾濫危険水位到達 (想定) → 洪水予報(氾濫危険情報)発表 → 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)  <b>○避難勧告又は避難指示を発令(警戒レベル4)</b>	○避難を前提にハザードマップで避難場所、避難手段を再確認 ○子どもがいるので隣町の親せきの家に避難する ○携帯電話の充電  ○川の水位をインターネット等で確認 ※川へ直接確認に行かない  ○通行止め情報がないかインターネット等で確認  ○川の水位をインターネット等で確認 ○テレビで洪水予報の確認  ○高齢者や障害のある方、妊婦、小さなお子様連れの方など避難に時間を要する方は早めの避難開始が必要です。 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)を受信  ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断  ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信  ○携帯メールで避難勧告、避難指示(警戒レベル4)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断してください。 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	情報収集は重要です。携帯電話等の充電をしておきましょう。  避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。  川や用水路には絶対に近づかない。  移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	
0h	氾濫が発生 (想定) → 洪水予報(氾濫発生情報) → 緊急速報メール	○命を守る最善の行動 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。  必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	

↑ 平時の事前準備と、早めの確認開始

↓ 状況の確認と、避難の開始。早めの行動が安全確保に直結します。

↓ 命の安全を確保すべき時期